

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり13.0人と、多い状態が続いています。例年12月が流行のピークとなる傾向にあり、注意が必要です。

この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによるもので、感染予防には、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などが重要です。(次頁参照)

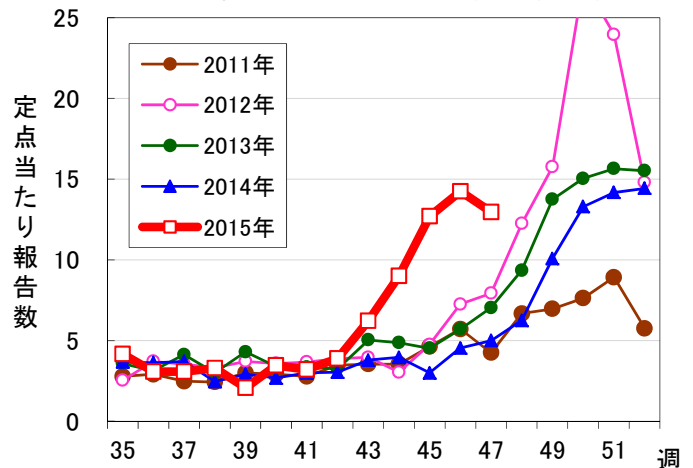
2. デング熱

1件(推定感染地:国外)の報告があり、今年の累計は3件となりました。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は7件となりました。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	0.25		小児科	流行性耳下腺炎	38	1.58	0.47	⇒
小児科	咽頭結膜熱	5	0.21	0.36		小児科	RSウイルス感染症	42	1.75	0.86	⇒
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	99	4.13	1.79	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	311	12.96	7.76	⇒	眼科	流行性角結膜炎	14	1.75	0.78	⇒
	水痘	10	0.42	1.46		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	手足口病	4	0.17	0.37			無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	17	0.71	0.05	⇒		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
	突発性発しん	12	0.50	0.55			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.15			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.08							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ⇒ ⇐ 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ⇐ ⇐ 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇐ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	135	男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・2人
4	つつが虫病	1	6	男性(40歳代)
4	デング熱	1	3	男性(50歳代)・推定感染地域: 国外
5	急性脳炎	1	5	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	7	男性(40歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎)(ロタ ウイルス)
報告数	広島市	第43週	—	6	77	149	8	19	9	10	2	2	46	36	—	5	—	—	1	—	1
		第44週	2	3	66	216	6	15	7	8	1	1	24	28	—	9	—	—	3	—	—
		第45週	1	4	50	305	10	11	12	7	3	—	51	19	—	13	—	—	—	—	1
		第46週	6	5	58	342	11	11	22	11	3	—	37	28	—	16	—	—	1	—	—
		第47週	1	5	99	311	10	4	17	12	1	3	38	42	—	14	—	—	1	—	—
定点 当 たり	広島市	第43週	—	0.25	3.21	6.21	0.33	0.79	0.38	0.42	0.08	0.08	1.92	1.50	—	0.63	—	—	0.14	—	0.14
		第44週	0.05	0.13	2.75	9.00	0.25	0.63	0.29	0.33	0.04	0.04	1.00	1.17	—	1.13	—	—	0.43	—	—
		第45週	0.03	0.17	2.08	12.71	0.42	0.46	0.50	0.29	0.13	—	2.13	0.79	—	1.63	—	—	—	—	0.14
		第46週	0.16	0.21	2.42	14.25	0.46	0.46	0.92	0.46	0.13	—	1.54	1.17	—	2.00	—	—	0.14	—	—
		第47週	0.03	0.21	4.13	12.96	0.42	0.17	0.71	0.50	0.04	0.13	1.58	1.75	—	1.75	—	—	0.14	—	—
	全国	第45週	0.13	0.35	2.29	5.72	0.44	0.52	0.59	0.50	0.02	0.06	0.65	1.50	0.01	0.76	0.03	0.04	0.68	0.01	0.07
		第46週	0.14	0.39	2.59	6.88	0.55	0.37	0.59	0.52	0.02	0.06	0.70	1.73	0.01	0.83	0.02	0.03	0.76	0.03	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発熱(39.0) 上気道炎 リンパ節腫脹		1	男	2015/09/06	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB5型 ライノウイルス
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発熱(38.9)		0	男	2015/09/07	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB5型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 肺炎 喘息 喘鳴		4	男	2015/10/11	咽頭拭い液	ライノウイルス
感染性胃腸炎 嘔吐 嘔き気 下痢 腹痛		12	男	2015/10/10	糞便	サボウイルス
その他の呼吸器疾患 不詳		3	不詳	2015/10/02	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患 発熱(37.4) 気管支炎		7	男	2015/10/06	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患 発熱(37.4) 気管支炎		5	男	2015/10/07	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患 発熱(40.2) 肺炎 腎機能障害 血尿 蛋白尿		4	男	2015/10/08	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の呼吸器疾患 発熱(40.7) 下気道炎 気管支炎		1	男	2015/10/09	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の消化器疾患 嘔吐 嘔き気 腹痛		9	女	2015/10/16	糞便	ノロウイルスG2群
その他の疾患 出血傾向		4	男	2015/08/31	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA9型
その他の疾患 発熱(38.0) 意識障害 熱性痙攣 痙攣重積		0	女	2015/10/14	鼻汁	ヒトヘルペスウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆ 手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など)
手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85～90℃で90秒間以上)しましょう。

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎」をご覧ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第47週(11月16日～11月22日)